



# WEEKLY REPORT

## 高山中央ロータリークラブ

2021～2022 年度 高山中央 RC 会長テーマ

「あなたを Happy に」-Make You Happy-



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

◆会長 大原 誠 ◆幹事 下田 徳彦 ◆会報委員長 長瀬 栄二郎 ◆会報担当 山本 辰男

創立 1991 年 5 月 20 日

<出席報告>

◇事務局 高山市本町1-2

飛騨信用組合本町サテライト出張所 3階

TEL:0577-36-0730/FAX:0577-36-1488

◇例会場 ひだホテルプラザ 3F/TEL:0577-33-4600

◇例会日 毎週月曜日 PM12:30~

◇ホームページ <http://www.takayamacrc.jp/>

	会員数	出席会員	出席数	Make-up	出席率
本日 1288 回	54 名	54 名	39 名	—	71.70%
前々回 1286 回	54 名	54 名	45 名	1 名	85.19%

- 点 鐘
- ロータリーソング
- 高山中央ロータリークラブ職業倫理基準
- ビジター・ゲストの紹介

奉仕の理想

### ●会長の時間

会長 大原 誠

みなさん、  
こんにちは。  
第 1288 回例会、会長の時間のご挨拶を申しあげます。一昨日 16 日「2021-2022 年度国際ロータリー第 2630 地区研修・協議



会」に中田会長エレクト始め次年度の役員、新入会員の皆さまには、ご多用の中、長良川国際会議場まで足を運んでいただき、ありがとうございました。さて、3 年ぶりとなる春の高山祭は、中橋と宮川沿いの桜満開のもとで行われましたが、天候が 2 日間とも雨模様となり、大変残念ながら屋台の曳揃え、御巡幸、陣屋前での三番叟・龍神台・石橋台によるからくり奉納、夜祭も取り止めとなってしまいました。しかし、雨の合間を縫って、屋台蔵前でのからくり、獅子舞や鬨鶏楽が行われ、重要な開催目的であった伝統の継承に関して、一定の成果があったものであり、祭を主催する日枝神社とその屋台組の英断に敬意を表するものです。先般ご案内の通り、14 日木曜日に、今年度ロータリー賞の項目の一つである「ポリオ根絶募金」を本町 1 丁目「ひだしんサテライト出張所」のキャッシュコーナー側の玄関口で行いました。募金活動専用の黄色いベストや法被を着用して、総勢 23 名の会員の皆さまに、12 時から 3 時までの 3 時間、時折雨が強くなるなど、雨に濡れながらも声かけしていただき、多くの方に募金をいただきました。伊藤ロータリー財団委員長始め参加会員の皆さま、お忙し

いところ大変ご苦労様でした。また、刃田パストガバナーにも、日枝神社での直会の帰りにお越しいただき、多額の募金をいただきありがとうございました。なお、当日参加できなかった会員様のために、この後募金箱を回させていただきますので、よろしく願いいたします。さて、恒例の「今日は何の日」、本日 4 月 18 日は発明の日・お香の日・よい歯の日とのことですが、不肖私の 67 回目の誕生日でもあります。そして、刃田パストガバナーも同じく 4 月 18 日が誕生日であります。先般発表され、ご存じの方も多いたと思いますが、4 月 1 日に刃田パストガバナーが、社会福祉法人清徳会の理事長に就任されました。併せて今回、中田学会会長エレクトも清徳会の理事にご就任されてみえます。ご承知の通り、清徳会は高山市初となる特別養護老人ホームを平成元年に開所され、以降当地域の人口高齢化に対応すべく、新宮園、南風園を相次いで建設され、平成 28 年にはサービス付き高齢者住宅「宙」を開設されています。いずれ、私もお世話になりますので、どうぞよろしく願いいたします。清徳会さんの基本理念を拝見させていただきましたところ、最初に「SERVICE（奉仕の気持ちを第一に）」とございます。まさにロータリーの理念にある「奉仕」であり、その理念のもと、刃田パストガバナーが清徳会のトップリーダーの理事長として、中田会長エレクトが刃田理事長を支える理事として、お二人のロータリアンがロータリー活動とともに地域にとって重要な高齢者の福祉事業に専念され、ご活躍されることをご期待申し上げ、本日の会長挨拶といたします。

**● 幹事報告**

◎国際ロータリー第 2630 地区  
ガバナー事務所より

- ・クラブ増強報告 3 月分
- ・休暇のお知らせ  
4/29～5/8

○濃飛グループガバナー補佐  
より

- ・ガバナー補佐最終訪問  
について  
6月6日(木)

○ロータリー米記念奨学会より

- ・ハイライトよねやま 265 号

<会報>

- ・下呂 RC

### 出席/プログラム委員会 委員長 渡辺 修治

4月16日に行われました「地区  
研修・協議会」の報告を 5  
名の方をお願いします。

**幹事 下田 徳彦****<地区研修協議会報告>****中田 学**

先週の土曜日に開催された地区研修・協議会へ行ってきた。クラブからは 12 名の出席。しっかりと修了証をいただきてきた。全体の内容・流れについては、岐阜市の長良川国際会議場と隣接の都ホテルでの開場で、ハード面はしっかりして、コロナ対策も万全で、13 時から 17 時までの長丁場で、リアルな座学であった。全体セレモニーの後、私は第一セッションとして、篠原ガバナーノミニールから、クラブ運営にとって、会長・ガバナー補佐・地区委員長の連携が大切で、地区とクラブが一体となることが重要であると伺った。その後、第 2 セッションでは、分科会に分かれて「戦略計画分科会」で剣田次期地区研修リーダーから「国際ロータリーの現状と変化」について伺う。1 時間 30 分の講演で久しぶりに大変長い時間、熱を込めて話したので、頭がフラフラして真っ白で、総評が心配だと伺う。それほど熱が入った刺激的な内容で、世界のロータリーは、かじ取りが大変難しい局面であって、国際ロータリーが全てではなく、私たちに世界・日本・高山市とのかかわり方を十分考えて選択していく必要性を感じた。研修・協議会を通して、心・頭に残ったメッセージを 3 つお伝えする。

**①ロータリアンの成長なくして、ロータリーの成長なし**

私たち自身が、このような研修の機会を得て、成長することで、ロータリーの質が上がり、例えば、会員が増加し、地域に貢献でき、知育が豊かになる。

**②不易流行**

「不易」いくら世の中がかわっても変えてはいけないもの。「流行」世の中の変化とともに変わっていくもの。これから何を取り入れ、何を変えていくのかをしっかりと考え、準備していくことが大切。

③リアル・本物に出会うことは大事。ただし、それを求めるには大変な苦労が必要である。あらゆる苦労を惜しまず、本物を求めることが大切である。

地区。研修協議会は、この 2 年、中止、バーチャルで開催されてきた。リアルと比べると、それではやはり、物足りなく、軽く流れていった感じがいなめなかった。今回は大変充実している。

とても勉強させていただいた。次年度にしっかりと生かしていきたい。

**前越 路子**

久しぶりの地区・研修協議会でした。バスで移動も、久しぶりでちょっと楽しかったです。第一セッションでの高橋ガバナーエレクトのお話は、来年度のスローガン「イマジジン ロータリー」に

ついて解り易く説明し、また地区スローガンの「ロータリーの心と原点を大切に、描こう明るい未来を」（ロータリアンの成長が日本のロータリーの未来を創る）について、かみ砕いた話があり、よく理解できました。分科会では、会員基盤強化分科会に出席しました。これは、会員増強委員会、D、E、I 推進小委員会、衛星クラブ小委員会の 3 つが一緒になった分科会でした。会員増強は、「一人の会員が一人を誘おう」をスローガンに女性会員 1 名を含む純増 1 名以上をお願いされました。その中で、オープン例会を開いて友人知人を誘うこととか、衛星クラブを作って候補者を増やすなど色々お話しされました。また、退会防止も大切であるということで、会員相互の親睦を深め融和につとめてほしいというおはなしもされました。D、E、I 推進小委員会は多様性小委員会が変わったものです

来年度 RI 会長のジェニファージョーンズさんがお話しされていることで、多様で公平で誰をも排除しないということだそうです。衛星クラブについては、日本ではまだ 26 クラブだそうです。8 名から作れるクラブで例会時間、年会費など入会のハードルを低く設定でき、若い会員候補の入会を促すことができるそうです。衛星クラブで、会員候



補をふやし、クラブを D.E.I で居心地のいいクラブにして、会員増強につなげるというお話でした。

### 水口 邦博

先日開催されました「地区研修・協議会」へ新入会員として参加させていただきました。コロナが蔓延して以来、1,000 人規模の大会には他団体も含めて初の参加となりました。そこで感じたのは、やはりリアルな大会で感じる「空気感」は素晴らしいものだという事です。第 2 セッションより、新会員としての研修がスタートしました。基本的なロータリーとしての説明が行われ、後半には現状の取組や次期 RI 会長の方針等を聞かせていただきました。次期 RI 会長は、初の女性会長ということもあり、昨今注目される「ジェンダーレス」や「多様性」の部分に着目されておられる印象でした。これはロータリーのみならず、我々の地域社会や企業にも必要不可欠な考え方だと感じております。久々な大会参加ということもあり、フルボリュームの内容や、講師の方も熱が入ったのか時間を少々オーバーと、正直疲れた所もありますが、このようなリアルな大会が今後もコロナで中止や延期する事なく通常開催されることを切に願います。



### 三枝 祥一

令和 4 年 3 月 25 日、航空自衛隊岐阜基地で行われた、職業奉仕特別大講演会の講師、国際ロータリー元理事、裏千家 15 代前家本・元特攻隊員の、千玄室太宗匠（京都ロータリークラブ）の講演内容で、平和と職業奉仕について語られた一部ですが、職業奉仕とは「事業を行うとき、それが社会の人々を幸せにする事にならねばならない」。ボランティア活動や寄付だけを目的とする一般の奉仕団体とは全く違う「ロータリー独自」のものであり、我々ロータリアンすべての心構えであり、ロータリーの根幹的な理念となっている。これが「職業奉仕である」と語られたそうです。



### 益田 大輔

地区研修の青少年育成の担当委員会では、メイン事業である「出前講座」に関し、事業目的からこれまでの取り組み、今後の課題の



説明がありました。教育委員との連携や JC・YEG・ライオンズクラブなど他団体を巻き込んで持続可能な事業に育成していくことが望ましいとのことでした。もともと「出前講座」に関しては、高山中央ロータリークラブがトップランナーで一日の長があり、より良い発展につながるよう率先して事業をアップデートしていく使命感があるのです。さて、かねてよりスマホの功罪や SNS との付き合い方が学校現場でも課題となっており、事業目的においてもスマホの制限等を謳っていますが、デジタルネイティブ（インターネットやパソコンが生まれつきある生活環境の中で育ってきた世代）という言葉があり、人生の途中からデジタルに関わる場合はいかに「道具」として利用するか（/もしくは使わないか）選択可能ですが、生まれつきの場合はもはや道具ではなく「環境」なので、子ども達はデジタルとのより良い共存が求められるのです。価値観がシフトしている現状と、これからのシンギュラリティ（技術的特異点：AI 技術人間より賢い知能を生み出すことが可能になる時点：産業構造の大転換期が予想されている）の到来を踏まえ、子ども達に有益なキャリア教育を提供できるよう「出前講座」の価値観も少しずつ変えていく必要があるのかもしれない。現場からは以上です。

### <ニコニコBOX>

ポリオ村メンバーに 14 日の祭りという出にくい所お手伝いありがとうございました。4 万円近く集めることができました。伊藤 正隆

この春の祭りは、2 日間とも雨天で残念でした。露天商が出ない祭りも寂しいですね。ポリオ根絶募金活動も同様で、ご苦労様でした。

足立 常孝

先週お話しした様に初孫が東京から高山に来てくれ、ニコっと笑ってなついてくれました。昨日は、誘って頂き良い天気のもと久しぶりに荘川で楽しいゴルフが出来たのでニコニコへ。

高木 純

過分なご紹介を受けましたので感動してニコニコへ。

劔田 廣喜

ご紹介を受けましたので感動してニコニコへ。

中田 学

本日、早退します。

植木 眞吾



<ポリオ根絶募金活動>

日時：2022年4月14日（木）12：00～15：00

会場：飛騨信用組合本町サテライト出張所 1階



春の高山祭りの4月14日、当クラブ事務所1階の会場の一部にブースを設け「ポリオ根絶募金活動」を行いました。雨天で祭り屋台の曳揃えやからくり奉納は中止となりましたが、行き交う人たちに声を掛け募金にご協力を頂きました。